



希望ある明日へ 真の豊かさを求めて

同窓会会長 池田 順子



緑の濃い葉をつけた柿の実が少しずつ大きさを増し、どことなく秋の気配を感じる頃となりました。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。多くの同窓生から会誌の発刊続行の声が寄せられ、今年も発刊の運びとなりました。さて、コロナのパンデミックにより懸念されていたオリピック、パラリンピックも様々なドラマを生み、人々に感動を与えて閉会し、次回が開催地フランスへとパトロンが受け継がれました。およそ

六千人集まったというパリの人々の映像は、活気にあふれ目を見張る光景でした。また、夏の高校野球選手権も開催されるなど、少しずつ光が見え始めました。しかし、感染者が増大していく様子を、日々、報道を通じて知らされ、出口の見えない中、困難と不安のある生活を余儀なくされているのも事実です。真摯に世の中と向き合う中で私たちは、良い方向として経済と医療への関心が深まったことと、家族とのふれあいや自然の中での潤いのある過ごし方に価値を見出し始めてきていることを感じます。七月に、ある講演会に出席しました。「欠乏から潤沢へ」というテーマでした。個

人、社会、世界全体が今まで繁栄していた活動を取り戻そうとし、V字回復へ必死になるなら、また何らかのパンデミックを引き起こすことになる。繰り返される大量生産と大量廃棄、それに伴う自然破壊と生態系のバランス崩壊が気候変動や新たなウイルスを生み出すということでした。また、化石燃料によっておこる気候危機も言うまでもありません。大量に物をつくったり、より便利さを追求する製品をたくさんつくること、長時間労働につながり、生活や人生を潤いのないものにしていくのではないかという内容でした。私たち一人ひとりも、この時期を契機に生活を見つめなおし、よい社会にしていくなめに関心を深め、取り組もうではありませんか。私たちは、命、人権を大切にすることを第一とし、また資源を無駄に使わない心がけ

第 39 号
令和 3 年 9 月 1 日
〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良文化女子短期大学
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
同窓会 まほろば
題字 名誉学長 足立 浩

同窓会総会について

毎年10月に予定していた同窓会総会ですが、今年度も、新型コロナウイルスの影響で開催することは困難と判断いたしました。会則にしたがい、役員会をもって総会に代えさせていただきますことをご了承のほどお願い申し上げます
議案：令和2年度決算報告
令和3年度予算について
同窓会の運営について
来年度は、総会を開催し、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

を常に持ち続けたいものです。私たちが、国にコロナ禍での生活補償を求めるのも大切ですが、今後、誰もが憩える緑豊かな公園や自然の中の居場所づくり、命を守るインフラ整備、山を膨大に削つての太陽光発電への警鐘、医療の充実、感染拡大の解明や防止に取り組む機関の充実を求めていこうではありませんか。これらが整っている国もたくさんあります。コロナ禍に生きる私たちは、コロナ終息後、どう生きるかも考えつつ、同窓会員だけでなく多くの人と手を携えて、子どもや孫たちの世代に光を

お知らせ

母校HPは2022年4月奈良学園大学HPに集約される予定です。それまでの間、トップページに情報を集約して運営されます。証明書等の申し込みは、HPでご確認の上、卒業年、学科、在籍時氏名、必要証明書、送付先、電話番号を明記し郵送願います。発行手数料は、成績関係は300円、その他200円、返信郵送料1通120円 2～5通140円です。総計金額を郵便定額小為替でお送りください。
〒631-8524奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス 教務課 証明書発行係

与える希望ある明日へ歩みだしたいものです。パンデミックを克服し、コロナ終息後には、誰かと一緒に食事や会話をする。歌やダンス、スポーツをする。よりシンプルで穏やかな暮らしを大切に。人生の意義や喜びを様々な形で味わう。新しいコモンセンスの中で、学年、クラスの同窓会の取り組みや、記念会の開催を楽しみましょう。皆様のお便りをお待ちしております。奈良学園のますますの御発展と、諸先生方、同窓生の皆様の御健勝、御活躍を祈念し、御挨拶いたします。

ご挨拶

学校法人奈良学園 理事長 伊瀬 敏史



同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。私は理事長に就任して四年目となり学園の末永い発展のために日々尽力しております。

新型コロナウイルスとの戦いも一年半を過ぎ、このお便りが皆様のお手元に届くころにはオリンピック・パラリンピックも終わっていることと思います。一刻も早いコロナ禍の終息を祈るばかりです。

学園においては大学のキャンパス統合計画が順調に進んでおり、現在三号館が建設中で、十月ごろから工事前の囲いが順番に取れてその姿を少しずつ現してゆくことと思います。令和四年四月から大学は登美ヶ丘キャンパスで一体的に教育研究活動を進めることとなります。同時に法人本部も登美ヶ丘キャンパスに再度移転いたします。三郷キャンパスの跡地について、キャンパス本体は三郷町に無償譲

渡し、サテライトオフィスやキャンパス、高齢者の住まいと働き場所の提供、町民のスポーツ・健康増進の場、として活用される予定です。また、信貴山グラウンドは奈良県下のスポーツクラブに売却し、サッカーグラウンドとして活用される予定です。奈良県出身のJリーグチームが誕生することを期待しています。

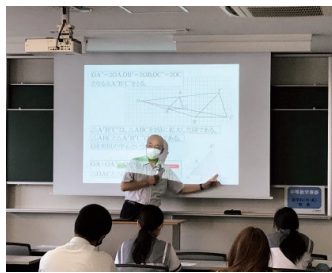
本年度より、五ヶ年の学園の中期計画がスタートしました。中期計画を立てるに先立って二〇三〇年までのビジョンとして「Naragaku Vision 2030」を策定しました。従来の各校ごとの建学の精神に加えて、学園全体の建学の精神を「個性尊重の温かい人間形成の場として、堅実にして良心的な教育を行う」として再定義しました。この精神は奈良文化女子短期大学発足の創設者の言葉から引用したものであります。この精神のもとで学園の各校園が連携・協力し、構成員が切磋琢磨し、互いに成長を促し、質の高い教育を目指します。そして二〇三〇年に向けた国際的な目標であるSDGs (Sustainable Development Goals) に示され

る諸課題に挑戦する人を育てます。

学園内の教育研究活動に資するため積極的に寄付募集活動を始めました。寄付金の他にリサイクル募金「きしゃぼん」も行っています。皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額が本学園に寄付される取り組みです。

コロナ禍の「遠隔授業」

奈良学園大学 人間教育学部教授 吉田 明史
元 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部長



短期大学の教育が四年制大学へと引き継がれてはや四年目を迎えています。もう次年度には、キャンパスが三郷から登美ヶ丘に移転することになります。5年前の懐かしの地に建設される新校舎で教えることを楽しみに思える一

寄付金は各学校の教育研究活動の充実並びにセミナーハウス志賀直哉旧居の維持・管理のために役立てられます。皆様からのご支援、ご協力をお待ちしております。詳しくは本学園のホームページをご覧ください。

同窓生皆様のご健勝とコロナ禍の一日も早い終息を祈ってご挨拶とさせていただきます。

方、度重なる緊急事態宣言の発出に応じて、授業は対面授業から、Zoomを用いた遠隔授業になるなど、学生に限らず教員もストレスがたまる日々です。
私は現在、中・高の数学教員を養成する専修のスタッフの一員で、数学科教育法1、4、数学の世界、数学入門、教育実習関連科目など8コマの授業を担当しています。授業は、Zoomと、学習管理システム(LMS)を使って行うことが普通になりました。私が遠隔授業で多用しているGoogle classroomは、WEB上で科目ごとに資料を配布したり、課題やテストを課しそ



れをサイト上で採点したりすることが出来ます。学生にとっては、科目ごとに授業の資料がまとめられること、課題の添削をサイト上でしてもらえること、テストの得点がフィードバックされることなどのメリットがあります。しかし、遠隔授業ではなかなか集中力が持続できない、先生の一方的な説明になりがち、学生同士の学び合いができないなどのデメリットもあり、この克服が教員に求められています。
コロナ禍で、短大の教育理念の一つとしていた、「きめ細やかな教育」が一層問われる日々を過ごしています。

奈良学園大学の短大縁の先生方に近況をお知らせいたしました



佐藤 長子 先生
国際センター長
国際連携学部教授
人間教育学部教授
善野 八千子

皆様、お変わりございませんか？

保育・教育の世界も目まぐるしい制度改革と遅々として進まない現状の中で奮闘されている皆様もおられることでしょう。私は、奈良文化女子短期大学元幼児教育学科長「教育は人づくり町づくり、そして、私は若作り」をモットーとしている善野八千子でございます。

かつて、登美ヶ丘キャンパスで主催の幼小接続研究会フォーラムで講演を頂いた秋田喜代美先生（当時…東京大学大学院教授）から、昨年度は研究協力の依頼を受けました。また、相変わらず全国への講演で回遊魚のように動き回っております。時に、卒業生の皆様から声をかけられたり、相談されたりすることも楽しみとやりがいの連続です。

さて、令和 4 年 4 月、登美ヶ丘キャンパスには、新校舎が建設され、教職員と人

間教育学部の学生合計約 650 人が現在の三郷キャンパスから引越越し、One Campus になります。

卒業生の皆様と落ち葉の季節に大学周辺の清掃ボランティア活動をしたり町並みも美しさが保たれ、時代の変化と共に活気にあふれています。

今年度「第 3 回奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ」は、奈良学園大学人間教育学部音楽専修が担当されました。短大で毎月開催されてきた「サタデー・オン・コンサート」をリメイクしたものとして発展しようとしております。さらには、「親と子の相談室ひまわり」も継続して地域貢献を担っております。脈々と受け継がれる奈文短の礎を大切にしながら、形を変えて発展しようとしています。

「変えることができないのは相手と過去、変えることができるのは自分と未来」です。より良く変わっていく登美ヶ丘キャンパスで、皆様と晴れやかに明るく集える日を楽しみにしております。それまで、「コロナに負けない。コロナで子どもの学びを止めない。教職員の学びも止めない」を強い信念として声をかけ合っ



教授 高岡昌子

奈良学園大学は、二〇二二年四月から one campus となります。現在、登美ヶ丘キャンパスに新校舎を建設中で、二月頃から引越しを始める予定です。今年度からは二号館の「つどいの広場」を行っていただきました部屋でオープンキャンパスをしております。コロナ禍で何かと大変ですが、健康第一で何とか乗り切りたいと思います！



准教授 岩本健一

皆様と過ごした日々を懐かしく思い出しております。四大でも、施設で働こうと思う学生がぼつぼつ増えてきています。ぜひ、皆さんの職場で働くようなことがあれば、ぶんたんの後輩として接していただければありがたいです。よろしくお願ひします。



准教授 林悠子

卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。オンラインと対面を繰り返しながら授業や学生指導を行う中、コミュニケーション、特に体育・スポーツの立場としては身体的な触れ合いの大切さを痛感する日々です。また、賛否両論あるも東京オリンピックでは純粹に選手の実力と強さに感動し、自分も元気でいたいと思えました。皆様もご自愛ください。



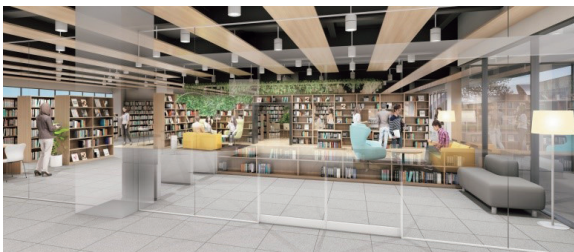
准教授 高橋千香子

短大卒業生の皆様、お元気で活躍のことと存じます。三郷キャンパスに移って二年半、車通勤にも慣れ、大好きな「フラワーロード」からの景色を眺めながら走る日々です。皆様との思い出深い登美ヶ丘キャンパスに戻る日が半年後に近づき、嬉しい気持ちです。コロナが落ち着いたら、ぜひピカピカの



教授 青山雅哉

現在、奈良学園大学人間教育学部中等音楽専修で音楽教師を目指す学生達を教えます。来年度は登美ヶ丘に引越越し、短大時代の価値ある楽器類や楽譜類を再度三郷から登美ヶ丘へ移動することになります。次年度からの音楽教育にフルに活用していきたいと考えています。そして、新たな図書館には奈良文化に関する「本の森」コーナーもできる予定です。



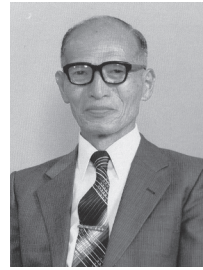
新図書館「本の森」

創刊号抜粋再掲

思い出

副学長 的場 義三

(平成六年八月九日 ご逝去)



母校が大和高田市に誕生して間もない頃は、バス停東中を西へ歩いて橋を渡ると、堤防には雑草が生い茂っていて、人が漸く通れる程度の細い道がありました。その道を踏みしめて通学した先輩の足が次第に道幅を広げて、今では立派に舗装され、タクシーやトラックまで走れるようになりました。

開学のはじめ、短大本部は磯野にあり、「ふたかみ寮」に講義室も管理室もありました。東中の方に、一棟が建築されて、両所併用になり、磯野と東中の間を歩いて往復したころを思い出します。雨の日などは、東中のキャンパスはぬかるんでゴム長靴がほしくらいでした。初年度できた教養科、翌年度加えられた保育科(のちに改組されて初等教育学科となる)のあの頃

に比べると、北の演奏ホールから南の学園会館まで、広々とした敷地に植樹された緑も細やかさを加え、葛城・二上の山すそには映える奈良文化女子短期大学の姿を眺めて、文字通り今昔の感に打たれます。

創立から数えて、二十年目に当って、「まほろば」が発刊され、会員の情報交換・相互親睦などに活用されることは誠に時宜を得たことと喜びに絶えません。

大和は心のふるさと

名誉教授 土井 実

(平成八年十二月一日 ご逝去)



卒業生の皆さんは、奈良県の方もたくさんいらつしゃいますが、大半は他府県から来られた方です。それだけに、奈良大和路は皆さんにとって、楽しい青春時代の一コマを過ごしたことになりました。その意味で奈良は第二のふるさとといえましょう。臨地講義で奈良大和路の自然にふれながらいろいろな文化財に接したことも楽しい思い出に



なっていることでしょう。皆さんが卒業されてから、テレビや新聞などで、大和路の大きなニュースを聞かれたことでしょうか。全国に誇る奈良文化の精粹です。皆さんは、奈良文化の学習を基盤とするこの大学で学ばれたことに大きな誇りをもたねばなりません。皆さんは、御卒業後それぞれのご場でご精励の事と存じます。どうか、折にふれて静かな心のふるさと、奈良大和路を思い起こしてください。どうかくれぐれもご健勝にわたらせませう、御多幸を切に祈ります。

旅のよろこびと寂しさ

松井 大造

(平成十五年一月十日 ご逝去)



松江の町並みにはわずかに秋の忍び寄る気配が感じられる陽ざしであったのに、中国山地の赤名峠は冷え冷えとして紅葉につつまれ秋すでに深まりつつあった。

松江駅前を発った広島市バスセンター行特急バスは約五時間の長途を走るの、ここ赤名で三十分の休憩をとる。ここになっていくらかあった。停留所には、そば、うどんを中心とする簡単な食事をとることのできる小さな売店が一軒あるだけで、辺りには十数件の農家が点在する谷あいの眠るがごとき静かな山村であった。僕は旅にいれば時間のある限り歩くことに決めていた。この日もわずかな休憩時間であったが、山裾に見える鎮守の森へは田圃道を行けば十分もあれば往復できるであろうと歩き始めた。細い畦道には人の気配は全然感じられなかったのに、石垣の上の

農家の軒から「センセイ、奈良文短の先生じゃありませんか？」とてつもなく大きな声であった。この山深き里で卒業生に巡り会うとは驚きであった。幼児教育学科を卒業後、広島市内に勤めているが、帰省中とのことであった。学園のこと、会社のこと、奈良のことなど語りあった。わずかの数分の会話であったが農家の縁先で、たくあんをつまみに番茶を戴いた光景を僕は忘れない。広島市には、彼女の同級生がいるから、バスの着くところまで迎えに出るようにと電話で連絡を取ってくれた。広島バスセンターは、デパートや名店街と一緒にあって、大きな駅であった。そこに見違えるばかりになった三人の娘さんの顔が揃っていた。その日は、広島カープが初優勝を決めた瞬間で街には紙吹雪が舞っていた。

旅して偶然卒業生とめぐりあう喜びと別れの淋しさに人生を想う。全国各地にいる卒業生の皆さんの多幸を切に祈る。



幸せな日々を

原田 正行

(平成十六年三月二十二日 ご逝去)



卒業生を思うとき、まず心に浮かぶのは、「幸福な人生を送っていただきたい」ということです。そこで幸福とはどんなものかを考えてみたいと思います。

心身ともに健康で、恵まれた生活をしているときは、幸福について考えないものです。しかし、病床にいて苦しい日々を送っている時、または悲しい時などは、ひたすらに幸福を追い求めるものです。

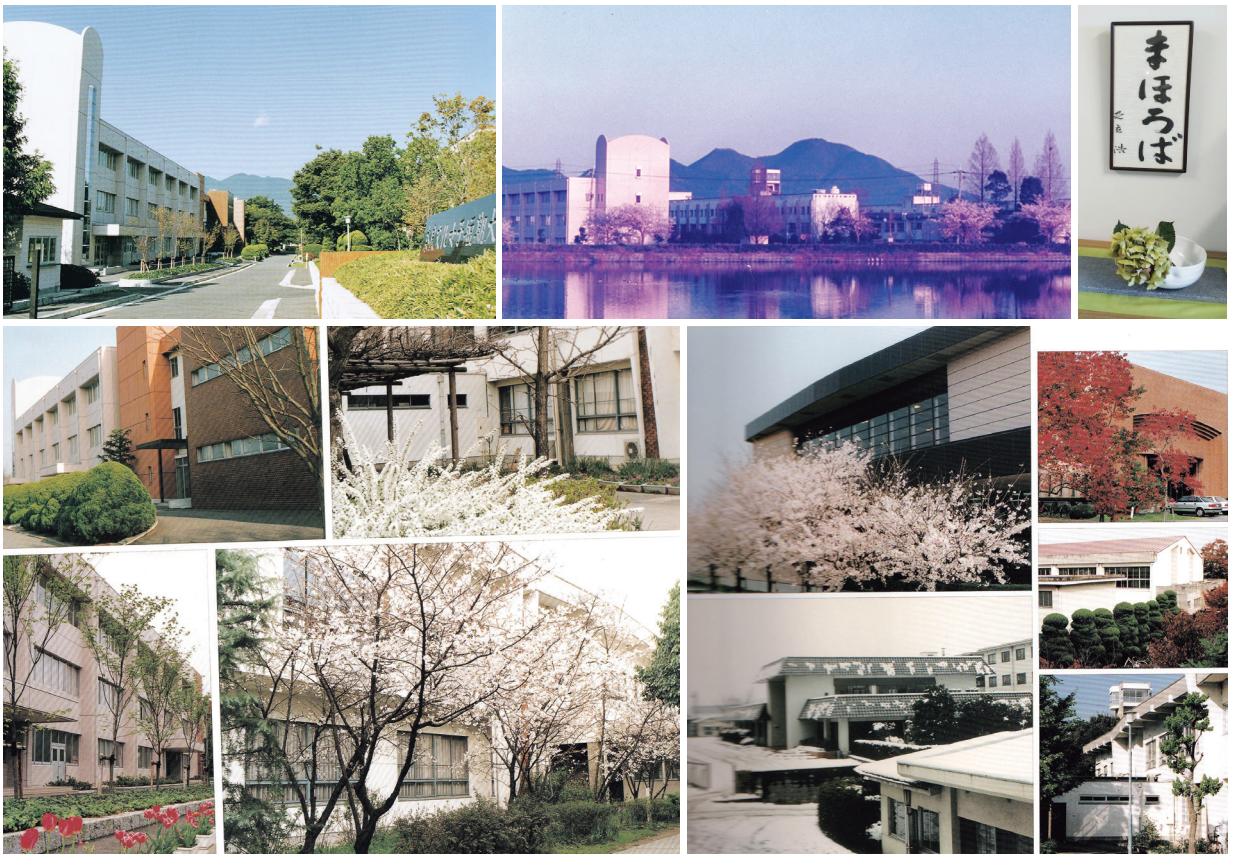
では幸福とは、「幸福と思うときに幸福になり、不幸と思うときにのみ不幸になる。」心の持ち方ではないでしょうか。経済的に恵まれた生活、地位の高い人であっても不幸を感じる人があります。極端な例ですが、トルストイは、一番の幸福な人として病床に横たわったままの大病人が、肉体の苦痛に打ち勝って、健康な人に慰みを与えている人

をあげています。これは本当に悟り得た人でしょう。しかし私たちは、病床にあつて、今日は熱がとれて平熱になったと心から喜んでる姿を見かけます。心の持ち方によってどんな時でも幸福になれるのではないのでしょうか。

とかく人は自分で自分を不幸にしていることが多いようです。何か不幸なことがあつたとき、自分の不注意に気づかず、他人が悪い、社会が悪い、自分はその犠牲者だと考えがちなのです。人はすぐに不幸になれるのです。しかし、同じ境遇にありながら、ある人は不幸に思い、ある人は幸福に感じていることがあります。

幸福になるためには、心の落ち着きが必要だと思いません。どんな逆境にあるときもよくよせず、不幸の原因をなくすように努力し、及ばないことは、天にまかせて自分の心の持ち方を根本的に考え直して、再生の努力をすべきだと思えます。もちろん自分の仕事に精進し、また感謝の心をもつことが大切だと思えます。物事に対して感謝の心をもてば、おのずから幸福を伴うものではないでしょうか。

高田キャンパスの思い出



保育士になった今

平成26年 幼児教育学科卒業 小倉 眞望



鹿児島県から奈良県に進学したのは、母校には三年コースがあり、働きながら学び、資格を取得することができたからです。卒業後、鹿児島で保育士として勤務し、九年目になります。今は年長、年中児の担任をしています。子どもたちと過ごす日々は、毎日が慌ただしく、あっという間に過ぎていきます。保育の現場は、春夏秋冬を通して様々な行事があり、製作物や準備物を用意するのは大変ですが、子どもたちが、日々の活動を楽しみ、笑顔になることが、私の喜び、楽しみでもあります。



私が、こうして保育士生活を楽しめているのは、短大で学んだり、経験できたことが保育の現場で活かすことができているからです。午前中は学業、午後からは、アルバイトをしながら通いました。慣れない環境に戸惑いながらも、保育士になるために授業を受け、ピアノを弾いたり、実習にいたり三年間を登美ヶ丘で過ごしました。その中でも、特にピアノが苦手でした。弾くことも楽譜を読むことも苦手な私でしたが、それを乗り越えることができましたのは、同じクラスの友達がいたからです。ピアノの練習に付き合ってくれたり、楽譜の読み方を教えてくれる友がいたから、頑張ることができたのです。だからこそ、

絆が深まり、今でも連絡を取り合っています。ここ数年は、コロナ禍でなかなか関西に行くことができずにいますが、短大の友達と「三十路会」をしたいねと言っていて、コロナが落ち着いたら、皆に会えるのを楽しみにしています。



子育て支援—私の楽しみ—

昭和42年 教養学科卒業 柿本 幸子



定年を迎え十五 years が過ぎ、いつも人ごとのように思っていた後期高齢者となり、私自身がびっくりしております。気持ちちは若く、まだまだ元気である気も満々、定年後の人生を何をして過ごそうかと考えた時、一つめは、何か社会の役に立てることがしたい。二つめは、いつまでも元気で有意義に過ごしたい。そこで、子育て支援に関しましては定年まで勤めた経験もあり



ママと一緒になにができるかな

り、退職後第一に応募して十年余り参加したのが、奈良県の「安心子育てダイヤル」でした。相談は様々な子育ての内容、家庭内の人間関係（姑夫との事）、親としてよりよい生き方を求めている悩み等多岐に渡っております。奈良県中から経験豊かな相談員が集まり、相談に応じながら、解決に向かって専門家を紹介したりして、次につなげていきました。その後、その時の相談員のメンバーで「子育て広場」を立ち上げました。若い親子が集う広場として、奈良県橿原市の補助金も頂き、運営しております。ところが、昨年来のコロナ禍で集うことが困難な状況になっており、とても残念です。人生も後半を迎え、今も尚、子どもたちや子育て中のママが大好き。夢ある将来へ、親子の育ちに役立ちたい。これだけは、誰にも負けないと自負して接しています。これからも新しい生き方を学び、繋がりを広げ、楽しく子育て支援を続けていきたいと思っています。

同窓生イベント情報

奈良市新大宮 モルタル教室

モルタルを使ったドールハウスをごぞんじですか

昭和53年 初等教育学科卒業 百田 純子

卒業後、奈良YMCA体育専任講師として、子どもたちと共に、夏はキャンプ、水泳、冬はスキー、スケートと走り回っていましたが、42歳の時に一八〇度転換し「手作りの世界」に身をおくことになりました。主宰の友人と共に「オリジナルドールハウス夢創空間」を立ち上げ、「夢をかたち」をコンセプトに、大きさや形にとらわれないドールハウスをはじめ、様々な手作り教室を運営しています。

また、古き良き時代の日本を形にしたいという想いから、生まれ育った奈良の風景や和のドールハウス、昭和の風景、立体絵画風ハウスなど、世界に一つしかないオリジナルの作品を制作しています。現在は、モルタル造形と出会い、はやりのガーデニングには欠かせないモルタルの家など外に置けるものもとより、室内のインテリアとしても置ける「ドールハウスとモルタルの融合」した家な

どを制作しています。夜にはライトが灯り、窓から灯りが見え、七色の噴水が夜を演出してくれる作品もあります。ぜひ、一度遊びにいらしてください。



作品を御覧いただくには、
Instagram [morutaru.lab](https://www.instagram.com/morutaru.lab)
もしくは [me_sa_kotokoto](https://www.instagram.com/me_sa_kotokoto)
を検索してください。

編集後記

日に日に空の色も深くなり秋の気配です。

会誌まほろばも第39号を迎えました。三十九年間、途切れることなく続けてこれましたこと、同窓生の皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。今号は、一四八五一名の同窓生の皆様にお届けさせていただきました。ご尽力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

今回は、奈良学園大学が登美ヶ丘ワンキャンパスとなることになり、短大ゆかりの先生方にご近況をお知らせいただきました。創刊号からの再掲は、懐かしい先生方と高田キャンパスの思い出のページとなりました。

同窓生のご活躍も楽しみの一つです。このような方がおられますとお知らせいただき、今回のご紹介となりました。あなた自身、または同窓生の方でこんな活動しておられますという情報をお寄せください。全

国の同窓生の皆様に、ぜひご紹介させていただきたいと思えます。来年九月以降のコンサート、展示会、イベント情報大歓迎です。開催しました情報でも結構です。ご投稿をお待ちしております。平成二十八年リオオリンピックの年にご寄稿いただきました平成八年教養学科卒業の伊藤美乃りさんは、東京オリンピックの卓球で大活躍、金銀銅メダルを獲得された伊藤美誠さんのお母さんです。美誠さんをサポートする伊藤さんのお姿をテレビで拝見しました。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

どうか一日も早く、会いたい人に会い、一緒に食事や会話ができるようになりませうように、同窓会が開催できますように、大きな声で「大和国原光あふれて」と学歌を歌うことができませうように、そんな日が待ち遠しいことです。

来年は、同窓会総会を開催することができませうように、お会いできる日を楽しみにしております。

(編集スタッフ一同)

令和2年度の同窓会決算及び令和3年度同窓会予算について下記のとおり報告します。

令和2年度 同窓会決算書

令和3年度 同窓会予算書

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	86,566,729
内訳	82,324,339 定期預金 1,242,390 普通預金
会費	0
雑収入	0
利息	7,261
合計	86,573,990

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	84,336,191
内訳	82,699,458 定期預金 1,636,733 普通預金
会費	0
利息	4,526
合計	84,340,717

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	270,945	事務局運営費
事業費	598,518	会誌送送料他、記念碑移動経費
備品費	0	
通信費	1,001,260	会誌送送料他
印刷費	339,576	会誌、封筒
光熱水費	0	
慶弔費	27,500	供花
予備費	0	
小計	2,237,799	
定期性預金	82,699,458	
普通預金	1,636,733	
小計	84,336,191	
合計	86,573,990	

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	400,000	事務局運営費
事業費	400,000	会誌送送料他
備品費	200,000	
通信費	1,200,000	会誌送送料他
印刷費	400,000	封筒、会誌
光熱水費	10,000	
慶弔費	100,000	供花
予備費	100,000	
小計	2,800,000	
定期性預金	80,699,458	
普通預金	841,259	
小計	81,540,717	
合計	84,340,717	

奈良文化女子短期大学、奈良学園大学奈良文化女子短期大学部同窓会の令和2年度の経理について監査いたしましたところ、その内容は適切なものと認めます。

令和3年4月1日

会計監査 新谷 初子
会計監査 岡部 るり子

会計報告

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます

元奈良学園大学
奈良文化女子短期大学部
事務局長 上田全克氏
令和三年三月十二日ご逝去
享年六十八歳

訃報

令和2年度 会務報告

- 6月24日 役員会 メール会議
- 令和2年度事業について
- 9月1日 同窓会会誌まほろば発行
- 11月7日 役員会(総会)
- (1)新役員 幹事大西恭子氏承認
- (2)事業報告 卒業記念碑の移設について
- (3)会誌「まほろば」第38号の発行について
14913通送付 内容について
- (4)会計報告 承認
- (5)その他 総会開催について 高田キャンパス開催を検討する。

STAFF EDITORS

- 池田 順子・櫻井 秀子
- 赤崎 良子・杉本 昭子
- 坪井 佳子・栢田 昌子
- 新谷 初予・岡部 るり子
- 唐戸 栄子・成瀬 恵美子
- 牧浦 信恵・西井 祐子
- 柿本 幸子・大西 恭子

会誌送付先変更(住所変更)・会誌送付停止の連絡について

*会員番号・卒業年・学科・在学時氏名をお知らせください。
*大学事務局は受付できません。
*同窓会 まほろば宛て郵送又はメールでお知らせいただければ幸いです。

〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 同窓会まほろば事務局
Email:nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp
事務局(登美ヶ丘キャンパスアリーナ2F) Tel:0742-47-2260
営業日:原則水曜日10:00~13:00(変更あり)
会誌への投稿→Email:nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp